

TAKAMATSU
MUNICIPAL
HOSPITAL



2026

高松市立みんなの病院

卒後臨床研修プログラム



目次 Contents

1. 基本方針・研修理念	1
2. 院長挨拶	2
3. 臨床教育センターより	3
4. 病院概要	4
5. 専門医制度による施設認定一覧	5
6. 高松市立みんなの病院基幹型臨床研修プログラムについて ...	6
7. 臨床研修応募申込書	9
8. 病院見学依頼書	10
9. 募集要項／研修医の処遇	11

「高松市立みんなの病院」の概要

高松市は、地方自治体として「高松市立みんなの病院」「高松市民病院塩江分院」の2つの公立病院を開設運営しています。両院は常に連携を取り、高松市南部地域を中心とした地域医療を担っています。

高松市立病院の基本理念である「生きる力を応援します」のもと、高松市民の健康保持と多様化する医療需要に応えるとともに、地域の中核病院としての使命を果たすため、高度・特殊医療を中心に住民医療福祉の増進に努めています。

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、脳血管外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、臨床検査科、病理診断科（26診療科）

病床数

305床（一般病床299床 うち地域包括ケア病棟48床、感染症病床6床）



高松市立病院基本理念 生きる力を応援します

基本方針

- 「リーディングホスピタル」として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 「理想的な医療」をファインチームワークで提供します。
- 「まごころのある医療人」を全力で育成します。
- 「地域とのつながり」を大切にし、みんなの暮らしを支えます。

研修理念

医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、診療能力を獲得するため、医療人として必要な基本姿勢を養成する。

将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につける。



院長挨拶



当院は、都市制度において中核市となる高松市立の医療機関です。平成30年9月に高松市民病院から高松市立みんなの病院と改称し、同市南部に位置する仏生山町（ぶっしょうざんちょう）に新築移転しました。仏生山は松平家藩主の菩提寺である法然寺の門前町として発展し、昔の佇まいを数多く残している一方で、旧家屋をリノベーションしたカフェや雑貨店、モダンな温泉施設がある新旧のバランスが大変魅力的なところです。

当院はことごとく仏生山駅に近いことから市中心部への交通アクセスも良く、PET-CTやダヴィンチなど医療設備・機器も充実しており、快適かつ満足度の高い研修環境を提供できるものと確信しています。プライマリ・ケアを含む急性期医療、地域医療から高度専門医療までレンジの広い疾患群を扱うことも特色の一つです。このような背景のもと、各専門領域の学会専門医、指導医によるマンツーマン指導を基本とし、研修プログラムの質向上と教育の充実を図っています。さらには卒前～卒後のシームレスな医師研修だけでなく、ジェネラリスト、スペシャリストともに将来目指すべき医師像のキャリア形成へ向けて円滑に接続できるプログラムを構築しています。「Think globally, act locally. Think locally, act globally」果てしなく広がる医学の世界を意識しながら地域で行動する。地域で得られた経験を活かし、これからの医療を変えていく。このような思いで次世代を担う医療人の育成に取り組んでいます。

高松市立みんなの病院長 六車 直樹

臨床教育センターより



高松市立みんなの病院は私が初期臨床研修医師であれば来たい病院です。研修医数が1学年に4名まででちょうどよい人数で時間的な余裕をもち指導を受けられることと、スタッフの皆さんが暖かく見守ってくれて雰囲気の良いためです。質問しにくい状況はなく救急対応も基本的には指導医師が付き添い丁寧な指導ができています。また診療科の垣根が低く相談しやすい病院です。研修を終えてもまた戻ってきて働きたいと思われる病院に、皆さんと一緒に成長していけることを楽しみにしております。

臨床教育センター長 藤井 笑子



初期臨床研修の2年間は基本的な臨床能力を習得する期間であり、将来の診療科や専門分野など自身のキャリアデザインを考える上でとても重要な期間になります。当院は高松市南部における地域医療の拠点病院として、最新のがん医療や各分野の専門医療を担うとともに二次救急医療機関として救急医療にも積極的に取り組んでいます。たくさんの研修医を受け入れる大規模ハイボリュームセンターではありませんが、中規模病院で初期臨床研修を行うことのメリットもあります。経験症例に関しては、当院ERでは様々な疾患の救急患者を受け入れているため、初期対応をしていくなかで経験値は確実に上がっていきます。取り組み次第では短期間でも多くの救急診療が経験できます。また、各診療科医師への相談がしやすく指導も受けやすいといった小回りが効く研修環境もおすすめポイントだと感じています。皆さんが充実した研修生活を送ることができるよう病院全体でサポートしていきます。

臨床教育センター
副センター長 居村 暁



医師としての基盤を作る初期研修2年間はその後の進路に影響することも多く、非常に大切な2年間になります。当院は診療科数、救急搬送数が多く、多様な疾の診療及び処置、手技を経験することができます。2年目研修プログラムでは選択科が10ヶ月と長く、個々の希望に柔軟に対応できるような研修が可能です。また、診療科の垣根が低いため、研修科以外の上級医にも相談しやすい環境です。診療科だけでなく職種の垣根も低いことから、複数の視点から患者さんを診るようになり、患者さん個々に合わせた丁寧な医療ケアの実践に繋がります。様々な患者さんの診療や多職種との連携を通じた学びは大きく、医師としてだけでなく個人としての成長にもなると実感しています。

「高松市立みんなの病院」の名前の通り、地域に根差した温かみのある病院です。ぜひ気軽に見学に来ていただき、雰囲気を感じてもらえれば幸いです。

臨床教育センター
副センター長 藤原 美佳



高松市立みんなの病院で初期研修をお考えの医学生の皆様へ。

初期研修医の2年間は、医師としての基礎を築く非常に重要な期間です。高松市立みんなの病院は地域医療の拠点病院となっており、幅広い診療科を有し、一般的な症例を数多く経験できる環境が整っています。診療科間の垣根も低く、研修医の皆さんが多くの科で学び、成長できるようサポートしています。また一方で、手術支援ロボットやナビゲーションなど先端医療に触れることができる環境も整備されています。救急診療にも力を入れており、研修医が数多くの初期対応を経験することができます。これにより、迅速な判断力と対応力を養うことができます。当院には臨床研修指導医も40名近く在籍しており、日々の診療や手技の習得をサポートしますので、安心して研修に臨んでください。

ぜひ、私たちと一緒に働きましょう！皆さんの研修が充実したものとなり、将来の医療に貢献できる医師として羽ばたいていくことを心から願っています。

臨床教育センター
副センター長 吉田 雄介



私は、初期研修を大学病院で行い、後期研修を病床規模500床以上の市中病院で行いました。その後は、大学院、市中病院、個人クリニックなど、様々な形態の病院を経験し、今に至ります。その経験を振り返った時に、初期研修で学んだことは、今でも記憶に深く刻まれており、医師としての土台となっています。初期研修は医療の知識だけではなく、“医師のシゴト”とはどのようなものかについて自分自身で考える貴重な機会でもあります。高松市立みんなの病院は、地域に根ざした中核病院としての機能に加え、高度な医療も行う病院でもあり、医師としての視野を広く持ち、経験することができる環境です。また、子育て世代の医師も多く在籍し、ライフワークバランスを保ちながら働ける環境も整っています。先輩医師から指導を受け、しっかりと学び、そしてメリハリをつけてしっかり休み、自分の目指すべき医師像を具体的に見つけてください。共に働けることを楽しみにしています。

臨床教育センター
副センター長 佐藤 悠

病院概要

所在地	〒761-8538 高松市仏生山町甲847番地1 電話 087-813-7171 (代表)	
開設年月日	昭和27年12月23日 (平成30年9月1日新築)	
病院長	六車 直樹	
診療科目 (26科)	内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 脳神経内科 精神科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 脳血管外科 呼吸器外科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 病理診断科 臨床検査科 歯科口腔外科 救急科	
施設の概要	敷地面積 54,100㎡ 延床面積 27,300㎡ 駐車場 643台 (来院者、職員駐車場)	
病床数	305床 一般病床299床 (地域包括ケア病棟48床を含む) 感染症病床6床	
職員の状況 ※令和7年4月現在	440人 (医師の数 55人、指導医数 36人)	
患者数 令和6年度実績	1日平均入院患者数	239人
	1日平均外来患者数	401人
機関指定等	保険医療機関 健康保険病院 社会保険病院 船員保険病院 国民健康保険病院 労災保険指定医療機関 生活保護法指定医療機関 地域医療支援病院 臨床研修病院 へき地医療拠点病院 DPC対象病院 救急告示病院 公害医療機関 医療保護施設 災害拠点病院 原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関 広域救護病院 労災保険第二次健診等給付病院 第二種感染症指定医療機関 指定自立支援医療機関 (更生医療) 指定自立支援医療機関 (精神通院医療)	



機 関 指 定 等

身体障害者福祉法指定医配置医療機関
 母体保護法指定医配置医療機関
 精神保健指定医配置医療機関
 指定難病治療指定医療機関
 指定小児慢性特定疾病医療機関
 肝疾患専門医療機関
 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 病院機能評価認定施設
 香川県がん診療連携協力病院



専門医制度による施設認定一覧（令和7年4月現在）

日本内科学会専門研修プログラム研修施設	日本脳神経外傷学会認定研修施設
日本血液学会認定専門研修教育施設	日本周産期・新生児医学会専門医制度補完施設
日本呼吸器学会専門医制度認定施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本医学放射線学会放射線科専門医研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本病理学会研修登録施設
日本循環器学会研修関連施設	日本麻酔科学会認定病院
日本外科学会専門医制度修練施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本超音波医学会超音波専門医研修施設
呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設	日本アレルギー学会専門医制度教育施設
日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設	日本肝臓学会認定施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本形成外科学会教育関連施設	日本環境感染学会教育施設認定教育施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設	日本脳卒中学会 一次脳卒中センター
日本透析医学会専門医制度認定施設	日本消化管学会 胃腸科指導施設
日本産婦人科学会専門研修連携施設	日本脳神経血管内治療学会研修施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）	日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修連携施設
日本神経学会専門医制度准教育施設	

高松市立みんなの病院基幹型臨床研修プログラムについて

【1年目】	内科24W (6W×4科)				救急12W (4W×3)	外科8W	小児科8W
	一般内科※1	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	麻酔科 (4W) 含む※2	一般外来研修含む※1	一般外来研修含む※1
	高松市立みんなの病院						

【2年目】	地域医療 4W	産婦人科 4W	精神科 4W	選択科目40W(4W×10)			
	協力病院※3	高松市立 みんなの病院	協力病院※4	高松市立みんなの病院・徳島大学病院・香川大学医学部附属病院※5			

※1 一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療の研修期間中に並行して実施。

※2 麻酔科における研修期間を救急部門の研修期間（最大4週）とみなす。

※3 協力病院（沖縄県立八重山病院、小豆島中央病院、綾川町国民健康保険陶病院、高松市民病院塩江分院）での研修が可能です。

※4 精神科については、徳島大学病院又は医療法人社団光風会 三光病院で研修を行います。

※5 到達目標の達成に必要な研修科を選択でき、高松市立みんなの病院、徳島大学病院、香川大学医学部附属病院から選択することができます。

個々のニーズにあわせて指導医と選択カリキュラムを相談することも可能です。将来を見据えて、自分ならではのカリキュラムを組んで充実した内容で研修を行います。

研修内容

内科

内科は、循環器科、消化器科、呼吸器科、血液内科、一般内科に分けられているが、専門のみではなく、幅広く、全員が総合内科医としての役割も担って診療にあたっている。初期研修は多くの症例から学ぶことが大変重要であり、当院では軽症から重症まで、様々な症例を経験することができるので知識や手技の習得も早くできる。

●内科医として必要な基礎的知識・手技を学ぶ。

Common diseaseを中心に、症例から学ぶことを基本とし、特に病歴・身体所見を重視し、必要な検査を行い、診断するトレーニングを行う。診断に必要な、血液ガス、血液培養、グラム染色、胸水検査、腹水検査、髄液検査、骨髄検査などの手技を習得する。輸液や輸血の管理、抗菌薬や抗癌剤投与の基本を習得する。救急患者の初期対応を学ぶ。その中で、気道確保、CVカテーテル、人工呼吸療法などの手技、管理を習得する。チームとしての医療を経験する。

●希望に応じて習得できる検査

上部・下部内視鏡検査、ERCP、気管支鏡検査
心エコー、運動負荷検査、心臓カテーテル検査
呼吸機能検査、気道過敏性検査、ポリソムノグラフィー（PSG）

救急（麻酔）

麻酔・救急蘇生に関する知識と手段、循環・呼吸を主とした全身管理の取得。

中心静脈路確保（外頸・内頸静脈）、術中麻酔管理、ICLS、気道確保（用手・ラリンジアルマスク・気管挿管）、心マッサージ、除細動器の使用（AED含む）、脊椎穿刺（脊椎麻酔）、硬膜外穿刺（硬膜外麻酔）、人工呼吸管理（人工呼吸器の使い方）

地域医療

各研修協力施設に指導者を置き、地域保険・医療の現場においての実体験を通し、患者様・施設入所者および家族等に対して全人的な対応や社会における各施設の役割等について理解し、実践できる能力、知識の習得について指導する。

多彩な地域医療研修を

沖縄県立八重山病院（石垣市）、小豆島中央病院、綾川町国民健康保険陶病院で、研修することができます。



外科

将来の志望領域に拘わらず、外科学の基本的な知識と手技を習得する。

臨床研修指導医を中心として内視鏡技術認定医、肝胆膵高度技能医などの各専門領域の外科指導医が実践を通して教育する。研修スケジュールには、回診・カンファレンス・手術への参加が組み込まれ、知識と技術の向上に伴い、より高度な研修を目指す。

基本的な外科の手技（糸結び、創傷処理、切開排膿術）の習得

開腹・開胸術・虫垂炎・ヘルニア等の手術経験 内視鏡下手術の基本操作の習得

輸液栄養管理を含む周術期管理の実際 ターミナルケアを含む患者への接遇 救急医療 医療安全、感染対策の基本

小児科

成長期にある小児の健康上の問題を身体的のみならず、精神的な面、社会的な面からも把握できるようにする。取り扱う患者は一般の急性疾患が主となるが、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、てんかん、心因性疾患等も対象となる。熱性けいれん等の小児救急疾患への対応についても習得する。

また、予防医学的観点から予防接種（相談と実施上の注意点を主に）各種検診活動（発達遅延の早期発見等）が適切にできるようにする。最も頻度が多い急性疾患では、季節毎に流行する疾患の特徴を的確に捉えられるようにし、抗生剤適正使用の概念を理解・実践できるようにし、日常診療上重要となる静脈採血・点滴ルートの確保を確実に実施できるように重点的に習得に努める。

産婦人科

- ① 周産期：(1) 正常妊娠、分娩、産褥の管理
(2) 異常妊娠、分娩、産褥の管理
(3) 産科的手術の介助：会陰切開縫合術、吸引分娩、流産手術、子宮頸管縫縮術、帝王切開、子宮外妊娠
(4) 正常・異常新生児
- ② 婦人科：(1) 一般婦人科疾患の診断、治療管理
(2) 婦人科手術疾患の介助…子宮全摘、付属器手術、子宮頸部円錐切除、子宮筋腫摘出術、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術、悪性腫瘍手術
(3) 悪性腫瘍に対する化学療法についての基礎的知識習得
- ③ 生殖医療：(1) 内分泌異常に対する診断、治療
(2) 一般不妊治療
(3) 生殖補助医療（体外受精等）に対する知識、技術の習得



精神科

主に統合失調症、躁鬱の感情障害、認知症について1例ずつ担当し、薬物療法の進め方を習得、その有効性を体験する。患者様への問診の仕方、鑑別判定および治療薬選択について習得する。

当院での初期研修について



先輩からのメッセージ

高松市立みんなの病院は、高松市南部に位置する中規模病院であり、プライマリケアから高度医療まで幅広く経験することができます。また、救急車の受け入れ台数は県内トップクラスで、指導医の先生と一緒に多くの症例に触れることができます。上級医、指導医の先生方は気さくで教育熱心な方が多く、何でも相談しやすいです。

他にも、病院の医療設備・機器が揃っていること、研修医室があること、選択研修の期間が長く、自由度の高い研修を行えることなど多くの良い点があると思います。興味がある方は、まずは病院見学に来てみてください。

現在は1年目の研修医が3名、2年目の研修医が4名在籍しており、切磋琢磨し合いながら研修しています。ぜひ皆様も高松市立みんなの病院で充実した初期研修を送りましょう。

初期研修医 籠島 誠人

この春から初期研修1年目として勤務させていただいています。簡単ではありますが、当院について紹介させていただきます。

当院では、研修医一人ひとりの「やりたいこと」にしっかり耳を傾けてくださり、主体的にチャレンジできる環境が整っています。さらに、指導医の先生方からは、その都度丁寧で的確なフィードバックをいただけるため、日々の業務を通じて着実にスキルを身につけていくことができます。

また、ワークライフバランスも非常に良好で、勤務後にはしっかりと自分の時間を確保することができます。リラックスして過ごせるだけでなく、自主的に学習に取り組む余裕がある点も、大きな魅力の一つです。

職場の雰囲気も風通しが良く、職員の皆さんは親切で協力的ですので、安心して医師としての第一歩を踏み出すことができる環境だと感じています。

少しでも興味をお持ちの方は、ぜひ一度、当院へ見学にお越しください。

初期研修医 川西 雄大

現在一般内科を回らせていただいています、一年目の豊島万里奈と申します。まだ分からないことも多いですが、みんなの病院について、実際に研修が始まってみての印象などを紹介させていただければと思います。

まず私が学生時代、病院見学の際に一番見ていたところは、幅広い経験を積みながらも自己研鑽の時間もあり、バランスのよい研修ができるというところでした。見学させていただいた病院は10を超えますが、みんなの病院は私の希望していた研修にとても合っていて、今ここで働くことができて大変嬉しく思っています。

実際に働いてみても学生の時に感じた印象と変わらず、たくさんのことを学びながら復習・自己研鑽や休息の時間をしっかりと取れています。また、研修医になると、医師としてそこにいるのに何もできないことに焦る、というのは多くの人が通る道かと思います。しかし、指導医の先生は一から大変丁寧に教えてくださり、また褒めていただいたりして、おかげさまで日々自分の成長を感じられています。

そして先生方もコメディカルの方々も皆さん優しいと言うことも、この病院の大きな魅力だと思っています。患者さんに会うために初めて一人で病棟に行った日、緊張しながら「おはようございます」と挨拶したところ、たくさんの方が返してくださってとてもほっとしたのを覚えています。

研修と自己研鑽、休息のバランスをうまく取ること、それが一番成長につながるのではないかとと思っています。希望する研修医生活が私と似た方には、特にみんなの病院をお勧めしたいです。ぜひ一度見学に来てください、お待ちしております。

初期研修医 豊島 万里奈

高松市立みんなの病院で初期研修をしている2年目研修医の神野と申します。当院の魅力としては中規模病院ならではの各診療科の垣根の低さが挙げられます。1年目を通してローテーションに関わった先生方が、その科を回っていない時でもCV挿入などの手技がある際には声をかけてくださり習得の機械を設けてくれます。また当院では当直があらかじめ決められておらず、ローテーション科の指導医と相談しつつ自身で入る日を決めることができました。救急の専門医はいませんが様々な科の指導医と入る事でそれぞれ特色のある症例を経験する事ができ私自身はその点も良かったと思います。初めての当直では指導医と初期対応をし、教えていただきながら動いていましたが、慣れてくるにつれ様子を見ながら指導医から診察やオーダー、病状説明等を任してもらえるようになります。その際も完全に自分ひとりで診療することはなく、指導医も救急外来まで下りてくださるので心配な事はいつでも相談することができました。



同期も最大4人と比較的少人数の研修になりますがその分一人一人を丁寧に指導してもらうことができますし、ワークライフバランスもありつつ、学びたいことを主張すると様々な形で対応していただける病院です。ぜひ一度見学にお越しください。

初期研修医 伊藤 章紘
寛 漱真
神野 崇
美濃 輝

年 月 日

高松市立みんなの病院長 殿

高松市立みんなの病院臨床研修応募申込書

次のとおり貴院卒後臨床研修に応募します。

氏 名	(ふりがな)	本 籍	希望する診療科
		都道府県	1年次研修
生 年 月 日	S・H 年 月 日生 (歳)	男 ・ 女	2年次研修
現 住 所	〒 電話番号： e-mail： 携帯電話番号：		
帰省先等の 連 絡 先	〒 電話番号：		
学 歴 (高等学校) (卒業時より) (記入のこと)	学 校 学 部 学 科 名		修学期間
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月
			年 月 ～ 年 月
医籍登録番号	第 号	医籍登録年月	年 月 日

研修履歴・職歴 (医籍登録後の履歴を漏れなく記入すること)

期 間	医 療 機 関 名 等
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	
年 月 ～ 年 月	

年 月 日

高松市立みんなの病院長 殿

見学希望者 住所

氏名

病 院 見 学 依 頼 書

次のとおり病院見学を希望します。

記

ふ り が な				性 別
氏 名				男 ・ 女
現 住 所	〒 -			
連 絡 先	- - (自宅・携帯) e-mail:			
生 年 月 日	昭和・平成	年	月	日生 (歳)
大 学 名	大学 年 卒業(見込)年月 年 月			
出 身 地	都・道・府・県 区・市・郡			
見 学 希 望 日	第1希望 年 月 日 第2希望 年 月 日			
希望する診療科 見 学 の 内 容				
交 通 手 段	公共交通機関(JR・高速バス)・自家用車・その他()			
そ の 他 (質 問 な ど)				

※在学証明書又は学生証の写しを添付してください。また、見学当日に、原本の提示をお願いします。

高松市立みんなの病院 臨床研修プログラム 募集要項

- 応募資格 医師国家試験合格者又は合格見込みの者
- 募集人数 4名
- 選考方法 書類審査及び面接により臨床研修委員会で選考
- 選考時期 申込受付後に日程調整の上、応募者へ連絡します。
- 提出書類 下記の書類を一括して封筒に入れ、必ず『書留郵便』送付、又は、持参してください。(持参される場合は、平日にお願いします)
 - ・ 申込書(様式：9 ページ)
 - ・ 履歴書(当院指定様式：ホームページに掲載)
 - ・ 学業成績証明書
 - ・ 卒業見込証明書又は医師免許証(写)
 - ・ 健康診断書
- その他 研修医の採用は、全国マッチング協会を通して決定します。
- 宿 舎 借上宿舎(要相談)
- 院内保育所 利用可

研修医の処遇

- 身 分 会計年度任用職員
- 給 与 1年次 基本給/月 350,000円 2年次 基本給/月 380,000円
[手当] 時間外手当・宿日直手当等 当直回数 3～4回 / 月程度
- 学 会 費 出張旅費及び参加費等の支給
- 勤務時間 毎週8時30分～17時00分(37.5時間) 土日・祝祭日を除く。
- 有給休暇 有(労働法の規定による。)
- 社会保険 有(健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険)
- 被服貸与 有
- 研修修了の認定及び証書の交付
研修を終了し、臨床研修委員会で目標が達成されたと評価を得た者に対して臨床研修修了認定証を交付する。

書類提出先・問い合わせ先

高松市立みんなの病院

〒761-8538
香川県高松市仏生山町甲847番地1
高松市立みんなの病院事務局 総務課総務係
TEL 087-813-7171(代表) 内線2103
FAX 087-813-7141(代表)
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp



ママ・パパに
なっても大丈夫!
院内保育所
設置



希望日時、見学期間・内容など
ご希望にお応えいたします!

高松市立みんなの病院事務局 総務課まで
お気軽にご連絡下さい。

TEL 087-813-7171(代表) 内線2103
FAX 087-813-7141(代表)
E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp



高松市立みんなの病院

〒761-8538 香川県高松市仏生山町甲847番地1
 高松市立みんなの病院事務局 総務課総務係
 TEL 087-813-7171(代表) FAX 087-813-7141(代表)
 E-mail byoinshomu@city.takamatsu.lg.jp
<http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp/>

